

# 【国語・中1「振り返って見つめる『少年の日の思い出』】

## 育成を目指す資質・能力

- 【知識及び技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。（2）ア
- 【思考力、判断力、表現力等】場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができる。C（1）ウ
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

## ICT活用のポイント

- 考えの共有、比較 ○共有の即時性 ○生徒の考えの把握のしやすさ

## 事例の概要

本時のねらい：僕がどのような気持ちでチョウを押しつぶしているのか、叙述やこれまで読み取ったことをもとに想像を広げて読み、グループでの交流を通して、解釈を深めることができるようにする。

### 【つかむ・本時のめあて】

チョウを押しつぶしたときの僕の心情について想像を広げて読み、グループで交流して解釈を深めよう。

### 【追究する1】

エーメールに告白する場面の僕の気持ちを捉える。

### 【追究する2】

僕がチョウを押しつぶした時の気持ちを考える。

### 【まとめる・振り返る】

僕がチョウとともに潰したものは何かを考える。

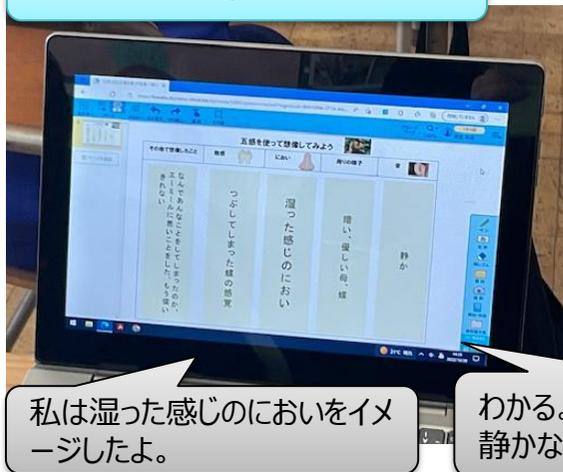
### 【追究する2】

- ① **【個人の考えの入力】**チョウを押しつぶした場面に注目し、五感を使って想像を広げ、イメージしたことをICT端末に入力する。（周りの様子？音は？僕の表情は？手の感触は？どのくらい力を込めた？）ペアで互いに想像したことを交流し、その中で僕の気持ちに迫らせる。
- ② **【グループワーク機能を使った学び合い】**誰に対するどんな思いなのか、自分の考えをもたせ、ICT端末に入力する。「自分」「エーメール」「チョウ」でグループ分けをし、同じグループ内で、理由・疑問・追加の考えを交流する。
- ③ **【学級全体での考えの共有】**学級全体で考えを共有する。代表的な考えや、教師が押さえたい考えを意図的に指名する。

# 【国語・中1「振り返って見つめる『少年の日の思い出』】

## 【ICT活用の場面①】

### 個人の考えの入力



・五感を使って想像を広げ、イメージしたことをICT端末に入力して、ペアで交流する。

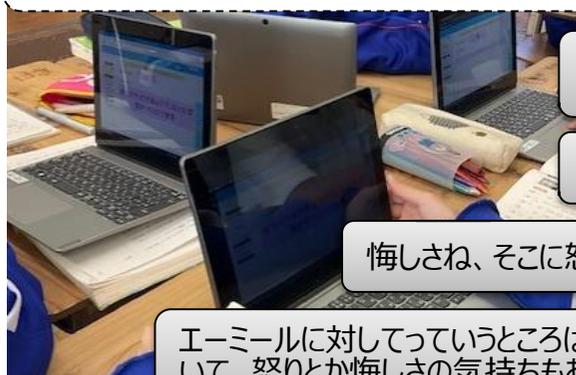
私は湿った感じのにおいをイメージしたよ。

わかる。わたしは何も音がしない静かな様子をイメージした。

## 【ICT活用の場面②】

### グループワーク機能を使った共有による学び合い

・グループワーク機能を使って互いの考えを比較しながら説明、質問し合う中で、自分の考えに付け加える場合は書き加える。



Eメールに対して、こんなことをした僕がチョウをもっているはいけないって謝りたい気持ちかな。

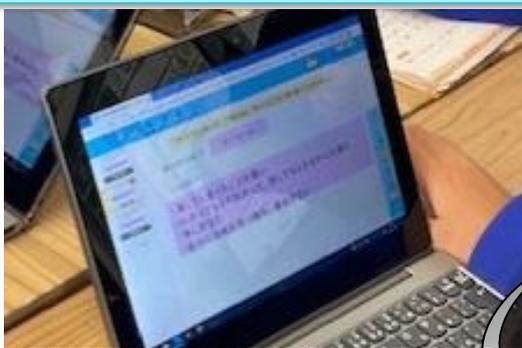
私は、分かってもらえなかった悔しさだと思う。

悔しさね、そこに怒りもあるかなって思った。軽べつした態度に対して。

Eメールに対してっていうところは同じだけど、理由はいろいろだね。みんなの話を聞いて、怒りとか悔しさの気持ちもあると思った。悔しさは自分に対してって気もするね。

## 【ICT活用の場面③】

### 学級全体での考えの共有

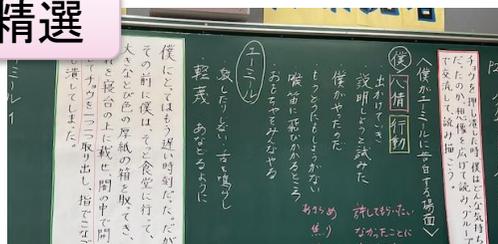


・各班から、代表的な考えや、教師が押さえたい考えを指名し、大型モニターで提示しながら共有する。キーワードでまとめ、ホワイトボードに分類する。他の班の意見からも自分の解釈を深められるようにする。

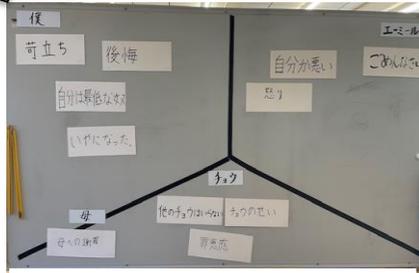
### ICT端末の活用場面の精選



モニター：めあてや課題の提示、全体での考えの共有場面



黒板：生徒の考え、発言を記録



ホワイトボード：全体共有で考えをキーワードで分類



掲示物：前時までの学習内容を教室の壁面に掲示

・ICT端末の活用は、個々の読み取りと、グループでの交流に絞り、活用場面を精選する。  
・授業者は、モニター、黒板、ホワイトボード、掲示物（前時までの学習の記録）を使い分ける。生徒は、ノート、ICT端末を使い分ける。